



香川県防災士会 会報



第15号 2013.10

防災士の皆様、ご無沙汰しております。

急に冷え込んできて、昨日まで半袖だったのに今日は冬物衣料・・・
体調管理にお気を付けてください。

9月1日の県訓練は、台風接近の為中止となりましたが多くの会員の参加表明を頂きました。

また、各地で防災訓練に「防災士」が参加しています。

認知度も上がってきており、活動に対する期待も大きくなっています。

香川大学での防災士養成講座も、定員オーバーでキャンセル待ちが出た状況です。

期待が大きくなるという事は、活動に対する評価も厳しくなってくることでしょう。

今後とも、ご協力よろしくお願ひいたします。

さ～、忘年会シーズン！頑張りましょう♪

♪今回は、報告(4件)です♪

＜土庄町豊島小学校（学校防災アドバイザー）＞ 【内田 久夫】

6月26日（水）豊島小学校 多田防災士・内田防災士

小豆島フェリー乗り場に12時50分に着き、うろうろしていると、70歳ぐらいのご夫婦に話しかけられました。

「どこに行く？」「豊島」「私たちも島に帰るところ」「学校に防災アドバイザーに行くところ」と話すと、災害の話で盛り上がり、戦前から現在の被害状況を教えてもらいました。

ご夫婦の話で、島では必ず何かあれば、誰かが助けてくれる。学校の子も私らが守るから大丈夫…地域の絆に感動しました。

豊島小学校は、山と山に囲まれた場所に海辺より800m・海拔5mの場所にあり、耐震は体育館のみで、先生8人・生徒19人・スクールバス運転手さんの計28人となっています。地域は、人口500人ぐらいで、多くの方が海辺近くに住んでいます。津波・土砂崩・水害などの災害が考えられる地域です。



6月25日（火）抜き打ち避難訓練の様子（豊島小学校HPより）

休み時間に抜き打ちの避難訓練をしました。

地震が発生したということを放送で伝えますが、休み時間ということで、教師の指示はせず、豊島っ子はまず自分の判断で机などの下にもぐったり、体育館では中央部に移動するなど、最初の動きができるよう訓練しました。



危機管理マニュアルについては、緊急時に校長先生が不在の場合の対応・危機管理マニュアルについての先生方全員の意識共有、フローチャートを作り、職員室に貼り出し先生の行動を分かりやすくする。地震時、スクールバスの運転手さんの対応、児童の安全について 等を話し合った。

避難訓練の様子の説明を受け、多田防災士より、運動場に避難後の行動についての対応と方法として、児童の引き渡し・体育館の安全確認・避難所としての対応・地震の時は地域に協力を依頼できる連携が出来ていれば尚望ましい。と説明があった。

今度も地域との連携を強め、各災害に応じた対応を地域全体で行い、学校は児童の安全を守り、地域の安全を守る拠点となる。今も運動会・防災訓練・お祭りなど深く地域とつながっていきます。他地域の模範になっていただきたいと思います。

<亀阜小学校校区「ぼうさい探検隊フィールドワーク」に参加して> 【大畑 光一郎】

今回、私は亀岡小学校校区における防災探検隊に2日間の日程で参加しました。

第一日目は、平成25年7月18日（木）講座「亀阜ってどんなところ？もし災害がおこったら？」について長谷川先生よりお話を頂きました。また、二日目のフィールドワーク「災害にあった時のことを考え、自分の住んでいる地域や通学路の防災マップ作り」の説明もあり、ますます亀阜小学校の先生、生徒や父母の防災に対する意識の高まりが感じられました。

第二日目は、平成25年7月29日（月）に各亀阜校区内の各子ども会に別れて、テーマであるフィールドワーク（防災マップの作成）を行うために、まず、子供達と一緒に毎日遊んである場所や通学路を歩いて廻りました。

私が担当したのは、大滝・竜の子子供会で西宝町の瀬戸内海放送付近を子供たちといつもよく遊ぶ公園や通学路などを探検し、安全なところ、危険なところについて記したマップを作成しました。調査した結果、たくさんの危険な箇所が隠れていることに気付き、子供たちはあらためて今後の遊び場や通学路について認識させられました。子供目線で探検するという、このような機会は、本当に必要だと再認識しました。

<平成25年9月25日 第6回新塩屋町地区防災訓練実施について> 【与田 勲】

当地区は、日本三大水城の一つである玉藻城を中心に北は、瀬戸内海に面し、南は片原町・ライオン通りの商店街、そして北東部は県立中央病院、（26年3月開院予定）四国ドッグを有する工業地帯の市街地です。

只、玉藻城の中堀、外堀が、町の拡張により埋め立てられ地盤が軟弱で液状化の危険度が最近の新聞のニュースではAランクと予測されました。

また平成16年の16号台風では、高潮で地区全体が大きな被害を受けました。そのため、住民の災害に対する危機意識が比較的高く、各自治会の自主防災組織達成率が100%で、高松消防局から感謝状を授与されました。

さて、今年も地区の防災訓練をコミュニティ協議会防災部会、地区自主防災会、連合自治会等の主催で10月6日（日）にて旧新塩屋町小学校で実施します。6回目となると訓練内容には、頭を悩ましたが、新しくトリアージの概要、煙体験、防災グッズ創作訓練（家庭にある身近な物を使ってのグッズ作成）をメインに取り入れ少し高度化しました。

さらに毎年実施のAED、消火訓練に豚汁の炊き出し訓練もあり、盛り沢山のプログラムです。費用も張り込みましたので、天気次第ですが500人の参加者を予定しています。

（原稿を頂いた時点での内容です。また、ご報告よろしくお願いたします。）

今後の行事予定

- 10/20 善通寺東部自主防災訓練
- 10/31 スキルアップ研修 高松地方気象台見学と講演会
「特別警報を含めた防災気象情報の活用について」
15:30～17:00
- 11/2 さぬき市防災ボランティアフォローアップ研修（東讃支部）
- 11/5 香川県シェイクアウト
14:00～ 香川県防災士会として151名で登録しました。
- 11/10 坂出まなとピア
- 11/17 国分寺北部校区防災訓練（担架搬送）
坂出市震災対策防災避難訓練
- 12/15 香川県国際交流協会「外国人住民のための生きる！避難所訓練（案）」
- 12/21 スキルアップ研修
14:00～16:30 三角布を用いた応用包帯等＜動きやすい服装＞
香川県社会福祉総合センター3階 文化教養室（和室）